

# kocv news

http://kocv.jp e-mail:info@kocv.sakura.ne.jp

## 「感動のワンシーン」

「この首取られても姫様はお守りもす」これは、篤姫様が出陣のとき西郷さんが発した言葉です。大河ドラマとはいえ、シーンときますね。一方、日常生活でも感動のワンシーンはほんの一瞬のことです。しかし、そのバックグラウンドには目に見えない苦勞の積み重ねがあったり、深い歴史が隠されていることもしばしばあります。コマーシャルのような爽やかなワンシーン、感動の大きさに差はあってもどれも本物です。反対に、偽物はどんなに装っても決して感動は有りません。平凡な日常の繰り返しの中で、ほんの一瞬の「感動のワンシーン」大切にしたいです。

### 報告

## やまと国際交流フェスティバルの活動報告



長谷川 真 (S63-1 ペルー)

3月23日(日)、大和駅東側プロムナードで、第3回 やまと国際交流フェスティバル実行委員会主催のイベントが開催されました。幸いお天気にも恵まれ、約5,000人の来場者がありました。青年海外協力隊神奈川県OB会は、ブース出展の他にスタンプラリーの運営など、イベント会場のあちらこちらで、祭りを盛り上げるために活動しました。

1. 協力隊の紹介
2. フェアトレード(パナマの紹介と民芸品の販売)
3. スタンプラリーの運営(世界のあいさつスタンプラリー)
4. ワークショップコーナーへの協力(ペルーの飲み物の試飲)
5. 民族衣装着付コーナーへの協力(14ヶ国、28着)

参加人数：

当日参加者 10名 + 民族衣装提供者 9名 = 合計 19名  
特記事項：①来賓で来ていた大和市の市長が協力隊神奈川県OB会のブースに立ち寄り、協力隊事業の説明を熱心に聞いてくれました。②地元のラジオ局「FM やまと」にて、協力隊神奈川県OB会とパナマOVによるフェアトレードの活動内容が紹介されました。

今回の活動を通じて、大和市国際化協会と青年海外協力隊神奈川県OB会の信頼関係が築けましたので、今後も地域での社会貢献のために、積極的に協力して活動していきたいです。最後になりましたが、今回のイベントに参加していただきましたOVの皆様には、朝から夕方までご協力をいただき、心から感謝いたします。

高野 忠裕 (H7-1 ラオス)

本日大和駅前東側プロムナードでやまと国際交流フェスティバルに参加しました。イベント自体は地元の中学生の吹奏楽部のコンサートあり、外国人のカラオケ大会あり、陽気な南米の音楽あり、踊りありと楽しいイベントでした。私はスタンプラリーで、呼び込みをしたり、はんこを押したりしましたが、景品が豪華で、特に木の船の模型をなぜか南米出身の子供と一緒に作られ大喜びされたのが印象的でした。(結局その子は、次は弟の、次はいとこのための、一日中何回もスタンプラリーをしていました)今回初めて大和駅前で行ったという事でしたが、大成功だったと思います。特にお忍びで、県の国際課の方がみえられていたのですが、うまく通行人を引き込んで地域の外国人をPRできていると絶賛していました。

今回のイベントを通して、大和には38人に一人が外国からの移住者である事、中国人がやはり多いですが、私の任国であるラオスやベトナム、カンボジア人も負けずに多いという事がわかり、協力隊OVによる地域内での外国人支援の必要性を痛感しました。

# アフリカ体験

来て 見て 触って!

畦地 崇敬 (H14-1 ブルキナファソ)

当日(3月16日(日))はKOCVメンバー10名にお手伝いいただき、KOCV活動紹介のブースと「アフリカの太鼓ジェンベを叩いてみよう!」のコーナーでイベントを盛り上げました。

このイベントはほかにも体験ワークショップとしてアフリカの料理作りやドレス作り、バナナカード作りがあったり、TICAD(アフリカ開発会議)やアフリカの女性たちについて講演会で楽しくもまじめにアフリカのことを語ったり、アフリカでの生活や音楽についてのセミナーや、アフリカの民話を演劇風にアレンジしたハイブリッド紙芝居があったりとアフリカ尽くしの内容で大いに盛り上がりました。



飯山 亮平 (H17-1 セネガル)

当日は晴天の日曜日にも関わらず200名以上の参加者の方にアフリカを来て、見て、触って頂きました。5月のアフリカ開発会議本番に向け、アフリカの大きな足音が、戸塚に聞こえてきたようなイベントになりました。市民とアフリカの距離がまた少し近づいたのではないかと思います。ご協力を頂きましたKOCVの皆さまに心より感謝申し上げます。



## 協力隊ポスター掲示キャンペーン

高野 忠裕 (H7-1 ラオス)  
西山 英治 (H7-3 コスタリカ)

“激減している協力隊応募者を少しでも増やしたい”という苦肉の策の一つ「ポスター掲示キャンペーン」神奈川県OB会も50枚を担当しました。そしてたくさんの皆様のご協力をいただき、お陰様で無事終えることができました。もちろん、ポスター掲示だけで簡単に応募が増えるのではありませんが、できることから始めようという取り組みでした。

振り返ってみると、(私もそうでしたが)協力隊応募のきっかけはポスターだったという方が、一昔前のOVには相当多くいます。志ある若者がかつてのポスターをみて奮起していた姿を現在みられるか? 甚だ疑問です。

今回のキャンペーンでは神奈川県内の多くのOVにご協力を頂きました。掲示場所も公共施設ばかりでなく、自宅の前であったり、店舗であったり身近なところに掲示して頂きました。力のあるポスターはそれを見た人の人生を変える時があります。そのきっかけ作りに関わっていきたく思います。今回ご協力いただいた皆様、大変ありがとうございました。

## JICA国際協力中学生エッセイコンテスト2007 結果報告

高野忠裕 (H7-1 ラオス)

前号でも紹介しましたが、当会にて神奈川の中学生エッセイコンテストの一次審査を行っています。審査結果が出揃いました。中学生の部の応募総数は全国で32,390作品、神奈川県からは2,197作品ありました。厳正な審査の結果、入選者6名、青年海外協力協会会長賞1名、そして、40作品以上または、全校生徒の3割以上の応募で選ばれる学校賞がなんと12校、過去5年間の応募実績で評価される特別学校賞に横浜市立原中学校が選ばれました。

受賞者の方、おめでとうございます。

どの作品も甲乙付けがたく選考は難行しましたが、その中でもエッセイコンテストの趣旨に賛同し、指導頂いた先生方及び学校関係者に改めて感謝いたします。

KOCV会員の皆様、今年も一次審査を行います。ご協力をお願いします。

## OV NOW

## 協力隊以後の私の人生

内藤幸彦 (S47-1 エチオピア 天然痘監視員)

私はエチオピア派遣の1期生で、前協力隊事務局局長金子洋三さんとは同期・同業種で今でも仲の良い仲間です。多くの隊員同様、好奇心旺盛でエネルギーも多く現在も様々な活動をしています。

帰国後、新婚の妻とイギリスのSussex大に留学し、修士号を取得してから不動産管理の(株)内藤と内藤アカデミーという塾を開設しました。20年間は脇目もふらず働き、31年目の現在はスタッフ数も20名になり、他の活動が増えました。

一番目は、20年以上続けている第二の故郷エチオピアの子供たちへの教育支援で、今年は10月に現地に行きます。そのために地元のロータリークラブの会員や(社)日本エチオピア協会の理事を務めています。あと役所や川崎交流センターで委員会活動をしたり、変わったところでは法政大学野球部の地元後援会会長(私の出身は早稲田ですが)とFM川崎のパーソナリティを6年続けています。高校時代バレーボール部だったので、年1回の公式戦(9人制)にも必ず出ています。

またロータリークラブでは平和学の修士号を目指す奨学金(世界で毎年60人選抜)を提供する「世界平和フェロシップ委員会」の委員長をしているので、修士での海外留学に興味ある人は連絡下さい。

還暦を過ぎて、心や体が続くのも人のために清々しい汗を流す協力隊時代があったからと思っています。神奈川のOV会活動にはなかなか出席出来ませんが、陰から応援をしています。

ロータリー世界平和フェロシップとは

平和および紛争解決の分野における国際問題研究のため、平和や紛争解決といった理念に献身する個人に、本要項で紹介されている7校の提携大学のうち1校において、国際研究、維持可能な開発、平和研究、紛争解決に関する修士課程で研究する機会を提供しています。毎年、世界競争制に基づき、ロータリー世界平和フェロシップが提供され、生涯、仕事や奉仕活動を通じて国内外の協力、平和、紛争解決を推進する指導者となるよう期待されます。

現在、フェロシップ修了者は、国連、世界銀行、国際移住機関、米州機構、各国政府機関、二国間または国際非政府組織やコンサルティング会社等で活躍しています。

## KOCV-free MLの御案内



OV会の活動に参加したいのだけど、どこで何をやっているかわからないと仰るあなた。国際交流や開発教育のイベントをやりたいのだけれど、OVに仲間を募りたいあなた。KOCVではメーリングリストを設置して、情報交換を行っています。寄付金振込み用紙の通信欄に申し込み方法があります(ML登録のみも可です)。メールアドレスと隊次、職種、氏名を連絡下さい。



# ありがとう！ “やってみなはれ支援金”

## パナマ民芸品チャカラのパナマ現地調査

中西(旧姓 宮本)雅美  
(H6-3 プログラムオフィサー パナマ)

菊川(旧姓 常見)佳代  
(H9-1 プログラムオフィサー パナマ)

神奈川OB会に所属して早1年。私のなかで一大セッションなできごとが、小さなNGOの代表者派遣でした。その機会を作ってくれたOB会に大感謝です！以下は、代表者のコメントです。(中西)

2008年の3月、8年ぶりのパナマへの訪問がつかないまま。菊川は協力隊帰国後の2000年から、先住民ノベ・ブグレ族の作る手編みかばんの販売を、OGらと任意団体を作って続けています。

ノベ・ブグレ族は、自給自足的な生活を長く続けてきた人々で、現金収入の多くは自治区外への出稼ぎによるもの。その他に、村内に残った女性たちが家事や子育ての合間に編んできた「チャカラ」もわずかながら収入源となるものでした。私たちのチャカラの買い付けは、現地の協力隊員の力を借りて行ってきましたが、いずれは生産者グループと直接取引ができるようになることが目標でした。それにはパナマ行きが必要でしたが、渡航の資金不足に悩んでいた折、KOCVから支援金のオファーをいただき、現地の複数の生産者らとの小規模取引の話合いが可能になりました。現地調査の詳しい内容は、「協力隊まつり」のステージでの報告会(4月20日(日))をまとめたものをHPで掲載する予定です。

日本の旅行者も業者もNGOも入って行かない辺境の手工芸品の存在をはじめに知ったのは、協力隊の隊員たち。果敢に店周りなどをし、今も等身大の活動を続けています。(菊川)



## 見学

## ハイテクノロジー工場見学ツアー

畦地 崇敬(H14-1 ブルキナファソ)

当日(3月15日(土))は神奈川海外技術研修員、県スカラシップ留学生といった外国人の方たちをはじめ、県職員、大学生、KOCV、東京OB会といった多彩なメンバーが計28名も集まり、横浜市保土ヶ谷ごみ処理工場と横浜市戸塚区内のキンビール工場に見学に行ってきました。ごみ処理工場ではちょうどその日に退職されるという工場長みずから工場内を案内していただき、横浜市が進めるG30の取組みなどを説明してもらいました。日本のごみ処理技術には研修員の方たちも大きな関心を寄せていました。

昼食はJICA横浜内のレストランでとり、途中貸切バスの車内では参加者みんなでゲームを楽しんだ後、お待ちかねの?ビール工場見学とあってか特に男性陣は興味津々にビールができる工程を熱心に観察し、見学後はおいしく飲める缶ビールの注ぎ方についてレクチャーを受け、みんなで「おつかれさま!」と乾杯してほろ酔い気分解散となりました。

今回のイベントは大成功で、早速次回の工場見学ツアー企画を希望する声が続々出ています。次の企画に乞うご期待!

## 2008年度 青年海外協力隊神奈川OB会 通常総会のご案内

今年も下記日程で総会を開催いたします。年に一度の総会です。特に今年は皆さんに喜ばれる新規事業を考えています。日程調整を頂きできるだけ多くの協力隊OB、OGの方々に出席していただければ幸いです。

1. **と き**：2008年6月8日(日) 13:00~17:00

2. **と ころ**：JICA横浜国際センター会議室  
住所：横浜市中区新港2-3-1  
電話：045-663-3253  
<http://www.jica.go.jp/yokohama/office/index.html#map>

3. **進 行**  
1) 神奈川OB会 通常総会 13:00~15:00  
2) 講演及びシンポジウム 15:20~17:00  
「今まさに多国籍社会 KANAGAWA へ変革のとき・協力隊経験は内なる国際化にどう活かせるか〜多文化共生に向けて外国籍県民の論客が本音を語る〜」  
パネリスト：外国籍県民かながわ会議委員3名(予定)

4. **注目の新規事業**：  
**使ってください活動支援費**：会員が主体的に企画実施する活動(他団体主催でも可)に対して、支援および助成を行う。最低2名参加するものを対象とし、KOCVの立場は主催・共催・後援・協力のいずれかで、資金助成(1案件につき30,000円以内)・会員への同活動の広報・参加呼びかけ。  
**壮行会**：壮行会自体は以前からありましたが、候補生から幹事を選び、KOCVからは3万円程度助成する予算措置を行います。  
**東アジア青少年招聘事業**：アジア諸国との青少年交流事業。平成19年から毎年6,000人程度の青少年を日本に招へいし、相互理解と友好関係の促進を図る、日本政府により実施されるが、KOCVは神奈川プログラム受入団体になれるよう働きかけます。(受入団体になれるかは未確定)

**KOCV基金**：上記活動の資金的裏付け及び安定的な組織経営(運転資金)を図る目的で、寄付金を原資として基金を設立する。

JICA(ジャイカ)横浜への交通手段  
所在地：〒231-0001 横浜市中区新港2-3-1  
\*桜木町駅：汽車道、ワールドポーターズ、サークルウォークを通り徒歩15分  
\*関内駅：北口から馬車道経由でワールドポーターズ方向に徒歩15分  
\*馬車道駅(みなとみらい線)：4番万国橋出口からワールドポーターズ方向に徒歩10分

## OB会への寄付金のお願い

神奈川県OB会は現在神奈川県内に在住の協力隊OB、OG約1600名で構成されています。これは日本全国47都道府県の中で東京OB会について第二番目の規模です。そしてその運営にはお金が必要であり、現在のところJICA、神奈川県、そしてJOCAから助成金をうけて運営資金として使わせていただいております。一方、OB、OGの皆様からの寄付金も一年間を通して約22万円のご協力をいただいております。たいへん助かっております。寄付金は¥1,500/口をお願いしております。同封しております振込み用紙を使って郵便局から振り込んでください。また、平日昼間の窓口からの振込みが困難な場合は、ATMからですと夜間、そして休日でもご利用いただけますのでよろしく願いたします。

## 寄付金納入者リスト(敬称略)

ご協力ありがとうございます。収めていただきました寄付金は有効に使わせていただきますので、今後ともよろしく願いたします。

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 星野亜紀子 | 西山 英治 | 西川 知子 |
| 田幡美江子 | 三浦 喜勝 | 脇 瑞穂  |
| 長瀬 修  | 入部 和也 | 林 徹   |
| 長谷川 真 | 西島 睦宣 | 近藤 達子 |
| 霜村 忠  | 田中かつ子 | 大西 香  |
| 仲野 一光 | 深沢 容子 | 松島 佳子 |
| 駒沢 彰夫 | 徳永 達巳 | 宮原 裕二 |
| 櫻井 研次 | 吉岡 祥子 | 八賀 伸治 |
| 佐々木明男 | 清水 武彦 | 石渡 善雄 |
| 和田迫 浩 | 藤木 直子 | 西村 忍  |
| 前田 裕司 | 松崎 健太 | 鈴木 宏尚 |
| 上条 明美 | 市岡 美奈 | 雑賀 雅人 |
| 清水 勉  | 伊藤 千晶 | 山本 武人 |
| 美ノ谷新子 | 藤井 克己 | 市川 澄雄 |
| 木戸 伸英 | 姫野 靖征 | 高橋 良明 |

## (仮題)「今まさに多国籍社会KANAGAWAへ変革の時・協力隊経験は内なる国際化にどう活かせるか」

～地域内での共生に向けて外国籍県民の論客が本音を語る～

外国籍県民かながわ会議委員 3名(予定)

神奈川県内各自治体においては「国際交流」と「国際協力」を柱として地域の国際課に取り組んでいたが、現在県内の外国人登録者数は16万人を超えFTA(自由貿易協定)により、今後も大幅に増加する事が予想される。そのような状況の中、否応なしに国際化を迫られた各自治体は地域住民との共生や国際化をいっそう推し進める事が求められている。

かたや、協力隊OVは任国での国際協力の実践者であり、文化や言葉を十分に理解している。任国に対しては日本と同じように愛国心もあるOVが多く、日本人住民との繋ぎ役には最適と思われる。

協力隊経験を地域社会で活かす方法の一つとして、外国人支援や多文化共生の活動が出来ないであろうか。

日々、問題意識を持って県へ政策提言を行っている外国籍県民かながわ会議の委員達から現実の問題を、本音の話を語って頂きます。

皆様ぜひともご参加下さい。  
なお、参加を希望される方は [info@kocv.sakura.ne.jp](mailto:info@kocv.sakura.ne.jp)  
又は [takano.tadahiro@gmail.com](mailto:takano.tadahiro@gmail.com) までご連絡ください。  
青年海外協力隊神奈川OB会  
高野 忠裕(7-1ラオス)

JICA横浜海外移住資料館(赤レンガ国際館)付近案内図

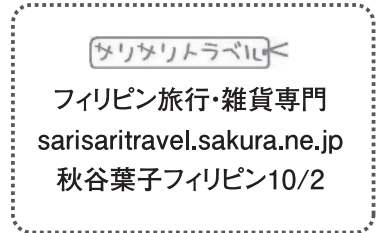


\*横 浜 駅 市営バス8, 20, 58, 110, 127系統、本町4丁目下車、ワールドポーターズ方向に徒歩8分。  
\*100円バス：土日祝日、夏休み、冬休み、春休みのみ運行。横浜駅または桜木町駅から赤レンガ倉庫行き100円バスでワールドポーターズ下車、サークルウォークを通り徒歩3分  
\*自 動 車：首都高速神奈川線みなとみらいICから5分

## HP掲載広告募集(無料!)

お店や会社、サークルなどの広告を募集します。神奈川県在住、在勤のOBOGの方は無料で掲載させていただきます。まずはご相談ください。

(例)



お問合せ: [info@kocv.sakura.ne.jp](mailto:info@kocv.sakura.ne.jp)

## 編集後記

早いもので、年が明けたとおもったら、あっという間に新年度が始まりました。

ここ数カ月間の物価の変動には驚かせられます。ガソリンや食料品といった身近なものから、この4カ月で50%以上も値を上げた鋼材など改めてお金の価値は絶対的でないという事を思い知らされているこの頃です。

6月には総会が行われます。会員の皆様が参加しやすい企画を考えています。今年は特に焦って仕事をとって、原料高でいいことがなさそうです。こんなときこそOV会の活動に参加・企画してみませんか。

ちょっと都合がよいですが、スタッフ一同、総会でお待ちしています。